分離

装置： ○○クロマトグラフ

図： ○○クロマトグラム

方法(○○グラフィー)	分離するもの
液体クロマトグラフィー High Performance Liquid Chromatography (HPLC)	有機物、合成高分子、生体高分子、錯体
Ultra Performance LC (UPLC®)	同上
イオンクロマトグラフィー Ion Chromatography (IC)	イオンや極性分子のような電荷をもつ分子を 分離
薄層クロマトグラフィー Thin-Layer Chromatography (TLC)	有機物、天然物
ペーパークロマトグラフィー Paper chromatography	色素など
ガスクロマトグラフィー Gas Chromatography (GC)	ガス状物質、気化可能な物質

高速液体クロマトグラフィー(HPLC)とは？

(High Performance Liquid Chromatography)

送液 → 試料注入 → 分離 → 検出 → 解析

分離＝クロマトグラフィー

○ = 固定相との相互作用が弱い成分
 △ = 固定相との相互作用が強い成分

図1 固定相中での各成分の分離

クロマトグラム

イオンの強さ
 ● > ● > ●
 (陰イオン)

陽イオンビーズ
 ○

イオン結合力の差

タンパク質の吸光度

タンパク質の吸光度

分子の大きさ

タンパク質の吸光度

分子の大きさ
 ● > ● > ●

多孔性ビーズ
 ○

タグ結合タンパク質
 ● タグ

タグなしタンパク質
 ●

抗タグ抗体結合ビーズ
 ○

結合親和性

タンパク質の吸光度

ペーパークロマトグラムによる分離

Rf 値

物質A: $Rf_A = a/c$

物質B: $Rf_B = b/c$

Rf_A と Rf_B の違いは、物質とろ紙との親和性の違いによる

実習4-1 水性インクは単一成分か？

[手順]

- ①ろ紙の原点に水性インクでスポット状に印をつける
- ②ろ紙下端を水につける
- ③溶媒トップの位置が飽和してきたら、引き出しRf値を算出する

実験1 黒の水溶性インクは単一成分か？

[手順]

- ① 沱紙の原点に黒の水溶性インクでスポット状に印をつける
- ② 沱紙下端を水につける
- ③ 容器の蓋を閉める(沱紙上の水が蒸発しないように)